

6. 子どもを持つこと

■子どもの有無

回答者 908 人のうち、子どものいる方は 65 人 (7.2%) で、そのうち、実子は 58 人 (89.2%), 実子+養子は 3 人 (4.6%), 養子は 2 人 (3.1%) でした (図 6-1, 図 6-2)。また、子どものいる方 65 人の属性は、【性別】男性 59 人 (90.8%), 女性 6 人 (9.2%), 【セクシャリティ】ゲイ 25 人 (38.5%), バイセクシャル 27 人 (41.5%), ヘテロセクシャル 10 人 (15.4%), 【年代】20 代 0 人 (0.0%), 30 代 9 人 (13.8%), 40 代 26 人 (40.0%), 50 代 21 人 (32.3%), 60 代以上 9 名 (13.8%) でした (表 6-1)。

図6-1 子どもの有無 (n=908)

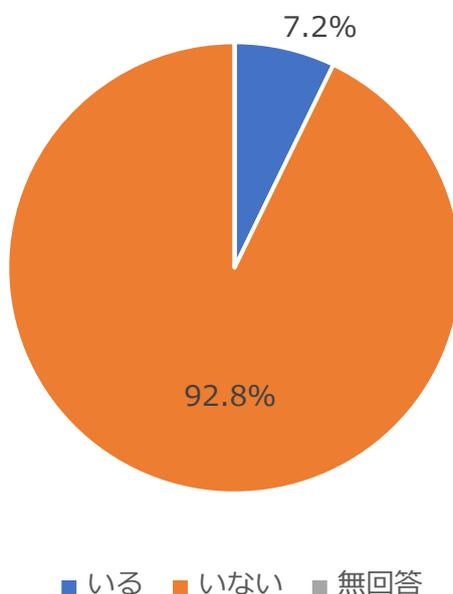


図6-2 子どもの属性 (n=65)

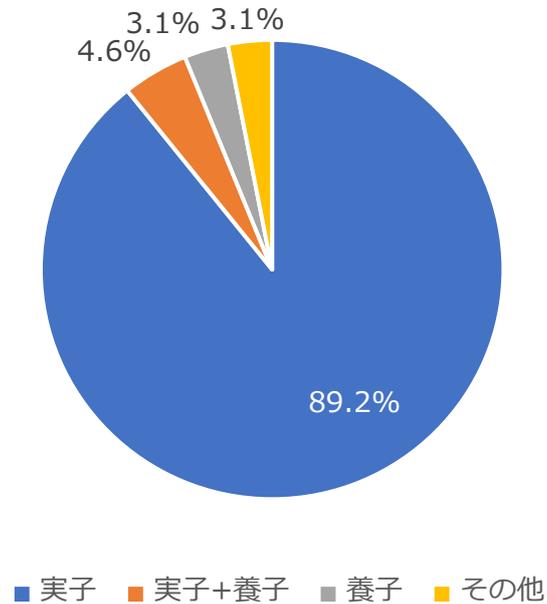


表 6-1 子どもを持っている方の属性 (n=65)

	割合 (%)
性別	
男性	90.8
女性	9.2
セクシャリティ	
ゲイ	38.5
バイセクシャル	41.5
ヘテロセクシャル	15.4
わからない	3.1
決めたくない	1.5
年代	
20代	0.0
30代	13.8
40代	40.0
50代	32.3
60代以上	13.8

■子どもを持った時期，苦勞したこと

子どものいる方 65 人のうち，HIV 陽性であるとわかった時期（2人以上子どもがいる場合は直近の子どもの状況）は，「お子さんを持つ前に HIV 陽性が判明していた」 15 人（23.1%），「お子さんの妊婦検診時に HIV 陽性が判明した」 1 人（1.5%），「お子さんを持った後に HIV 陽性が判明した」 48 人（73.8%）でした（図 6-3）。お子さんを持つ前に HIV 陽性が判明していた方 15 人のうち，子どもを持つと決めるにあたって苦勞したことは（複数回答可），「妊娠・出産に関する十分な情報を得ることが困難であった」 4 人（26.7 %），「妊娠・出産可能な医療機関を探すことが困難であった」 4 人（26.7 %），「経済的に立ち行かなくなりそうになった」 4 人（26.7 %）などでした（図 6-4）。

図6-3 HIV陽性であるとわかった時期（n=65）

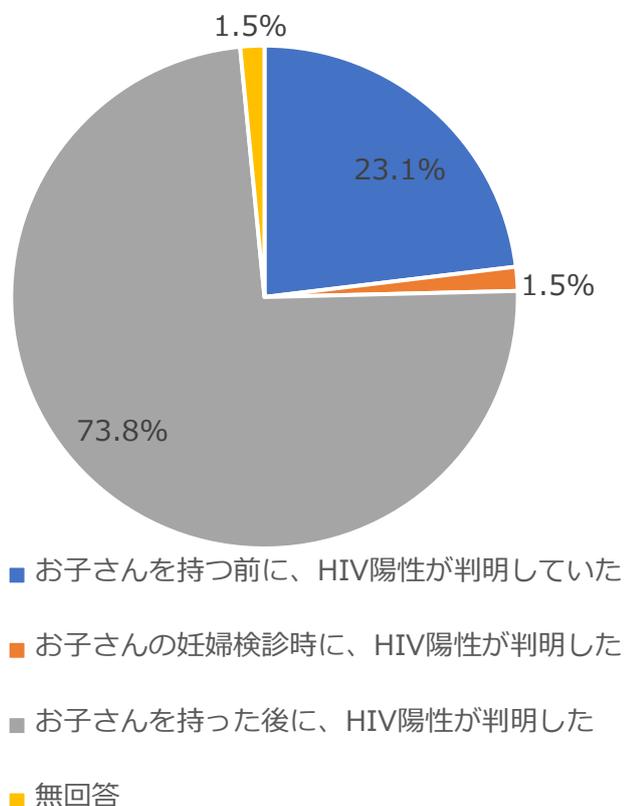
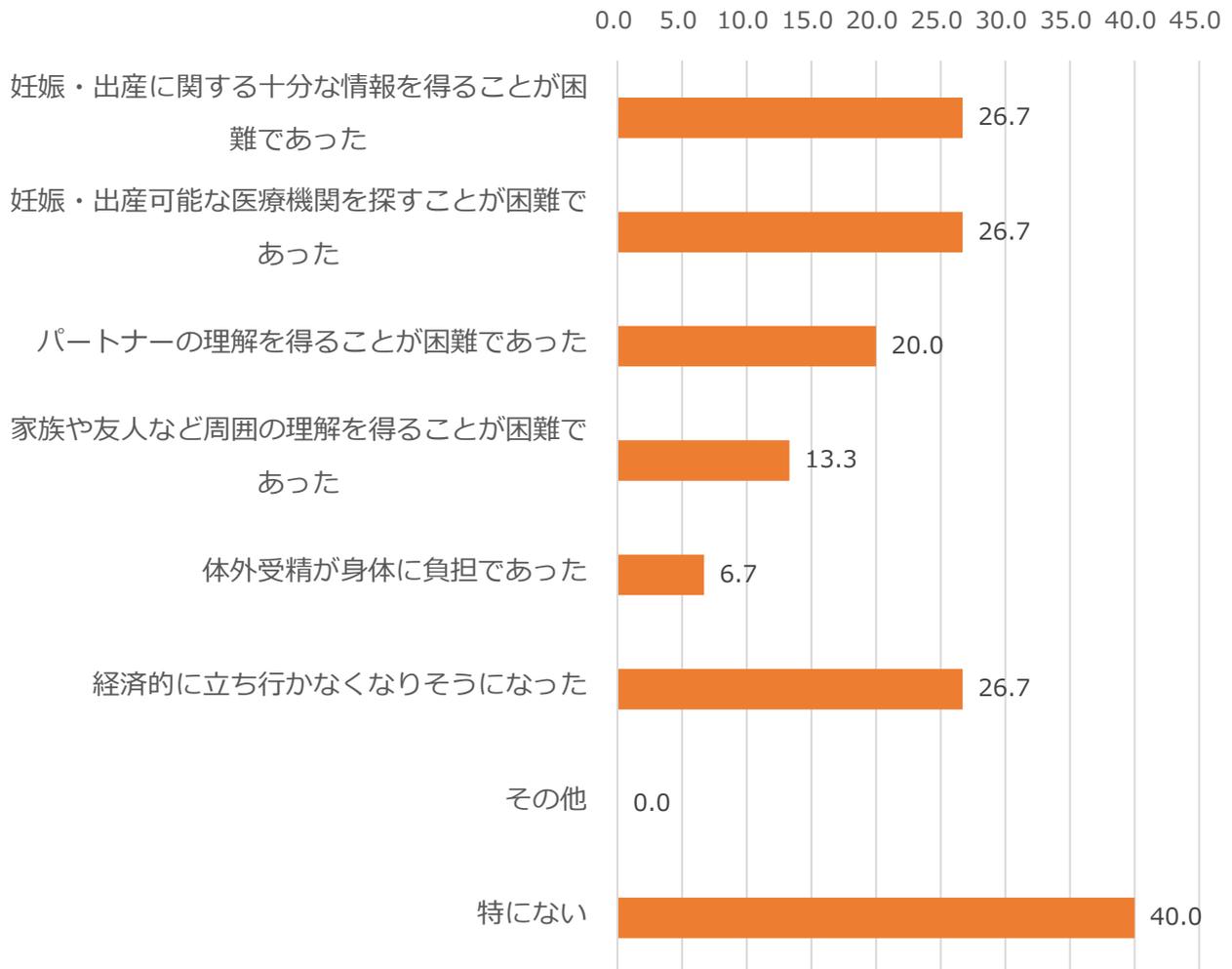


図6-4 子どもを持つと決めるにあたって苦労したこと (n=15)



■ 子どもを持つことに関して役立つサポートや情報，必要としているサポートや情報

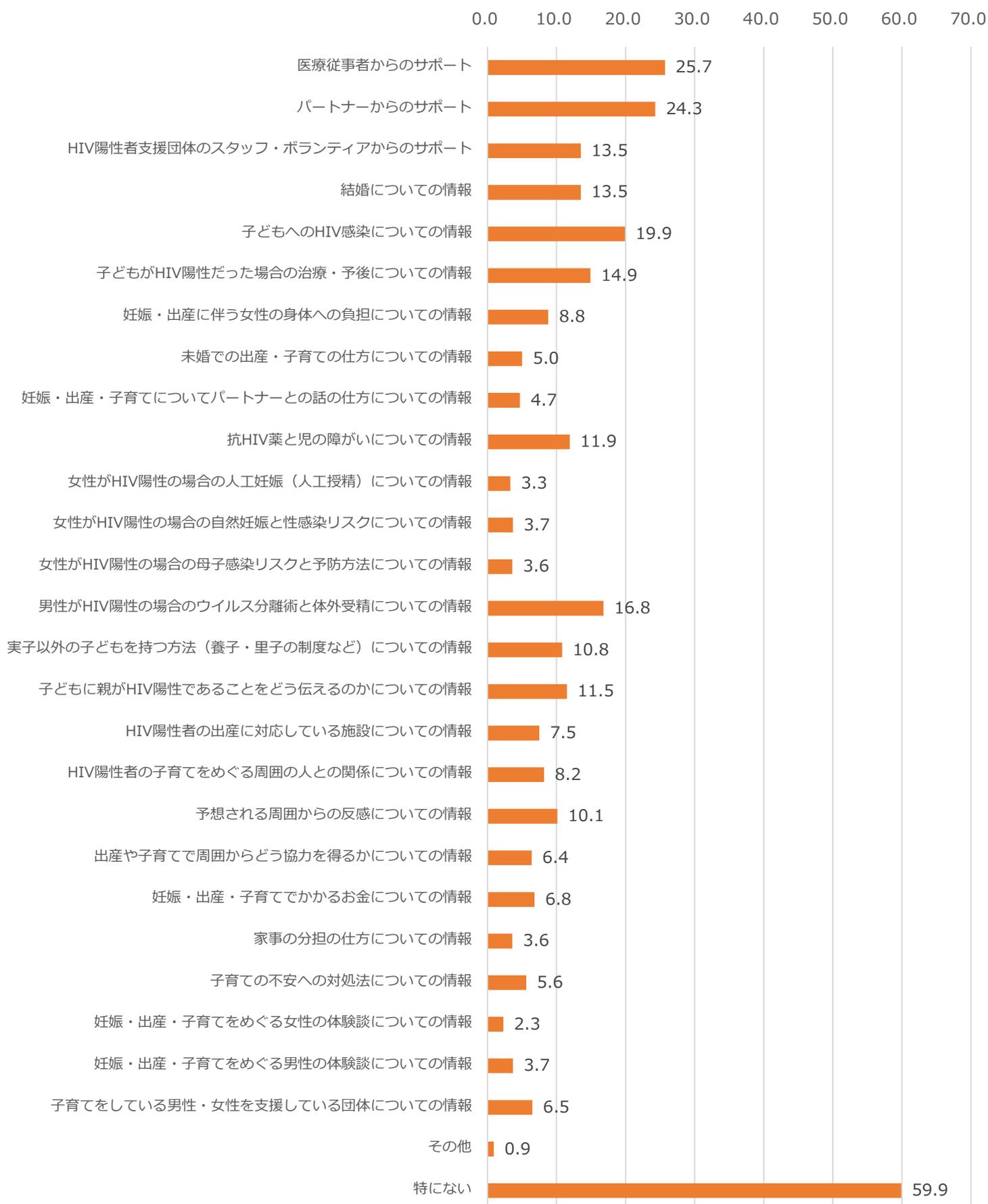
お子さんを持つ前に HIV 陽性が判明していた方 15 人に役立つサポートや情報をお尋ねしたところ、「医療従事者からのサポート」 10 人 (66.7%)、「男性が HIV 陽性の場合のウイルス分離術と体外受精についての情報」 8 人 (53.3%)、「子どもへの HIV 感染についての情報」 7 人 (46.7%)、「パートナーからのサポート」 7 人 (46.7%) などでした (図 6-5)。

一方、子どものいない方 843 人に必要としているサポートや情報をお尋ねしたところ (複数回答可)、「医療従事者からのサポート」 217 人 (25.7%)、「パートナーからのサポート」 205 人 (24.3%)、「子どもへの HIV 感染についての情報」 168 人 (19.9%)、「男性が HIV 陽性の場合のウイルス分離術と体外受精についての情報」 142 人 (16.8%) などでした (図 6-6)。

図6-5 子どもを持つことに関して役立つサポートや情報 (n=15)



図6-6 子どもを持つことに関して必要としているサポートや情報 (n=843)



■子どもを持つ方法の認知, 子どもを持つことの希望, 子どもを持つことをあきらめた経験

子どものいない方 843 人の子ども（実子）を持つ方法の認知は「よく知っている」189 人(22.4%),「少し知っている」390 人(46.3%),「まったく知らない」264 人(31.3%) でした（図 6-7）。また, 子どもを持つことの希望は, 「ほしいと思っている」231 人 (25.3%),「ほしいとは思っていない」457 人(54.2%),「わからない」173 人(20.5%) でした（図 6-8）。HIV 陽性を理由に子どもを持つことをあきらめた経験をしていた方は, 124 人(14.7%) でした（図 6-9）。あきらめた経験のある方 124 人にその経緯をお尋ねしたところ（複数回答可）, 「金銭的に厳しかったから」42 人(33.9%), 「パートナーの理解を得ることができなかったから」21 名(16.9%), 「年齢的に厳しかったから」20 名(16.1%), 「妊娠・出産に関する十分な情報を得ることができなかったから」16 名(12.9%) などでした（図 6-10）。

図6-7 子ども（実子）を持つ方法の認知（n=843）

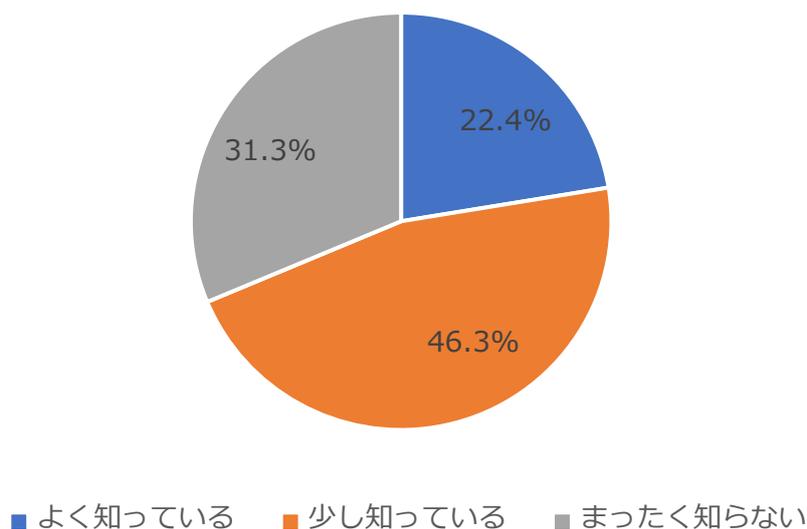
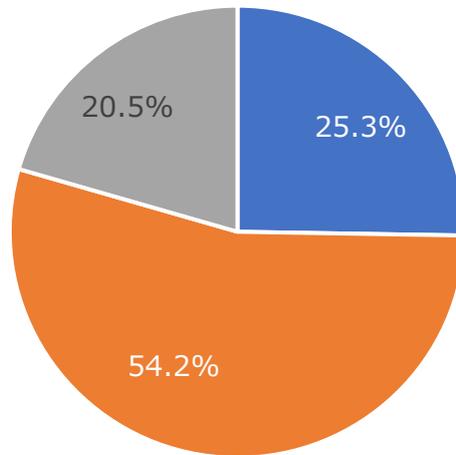
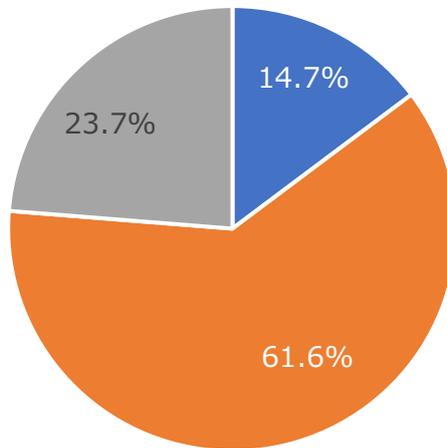


図6-8 子どもを持つことの希望 (n=843)



- ほしいと思っている
- 子どもをほしいとは思っていない
- 子どもをほしいかどうかわからない

図6-9 子どもを持つことをあきらめた経験 (n=843)



- ある
- ない
- わからない

図6-10 子どもを持つことをあきらめた経緯 (n=124)

